生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター和合 担当圏域レベル）開催報告書	
１　開催日時	令和　6　年　9　月　30　日　（　月　） 9　時　30　分　　～　11　時　00　分
２　開催場所	和合せいれいの里　研修センター
３　参加者	33名
委員11名(住吉・和合地区5名、富塚地区6名)、関係機関12名、その他10名	
４　協議の内容	

1.　開会
2.　挨拶　　住吉・和合地区生活支援体制づくり協議体会長
3.　協議内容について

①　前年度協議体会議の振り返り

②「地域みんなの外出応援！歩行器&車椅子体験会（高台協働センターまつり）」の実施について

令和6年2月10（土）に高台協働センターまつりにて実施。訪れた人（地域に住む人たち）に歩行器を直接目で見て体験してもらうことで、高齢者の外出手段のひとつとして理解、認識してもらうことと、訪れた人に歩行器の必要性や外出に関する困りごとなどの聞き取りを行うことを目的として行った。

体験会の参加者からは以下のような意見があった。

・歩行器や車いすにこんなにたくさん種類があることを知らなかった。
・親が外出するのが大変になってきた。歩行器があれば外出するのが楽になりそう。
・ちょうど家族の歩行器の購入を考えていたところ。 なかなか直接みることができる場所がなかったので機会があってありがたい。
・このような体験会の機会を色んな場所で開催してほしい。
・近所の高齢の方（和合町）が、荷物が運べず買い物がつらいと言っていた。荷物を運べる歩行器のことを教えてあげようと思う。
・シニアカーも見てみたい。

③　移動スーパーの導入（富塚地区）

令和6年1月　富塚北集会所での移動スーパーを試験的に実施後、令和6年3月より富塚地区内の3箇所についてサロン終了後に合わせて移動スーパーを導入した。

移動スーパーには、サロン参加者だけでなく、チラシを自治会回覧し、地域住民に向けた買い物支援ともなるように実施をした。現在は3箇所のうち、2箇所で継続中。

④「高齢者のゴミ出し体験会（富塚協働センター第 4 回ごみゼロフェスタ）の実施について

協議体にて地域課題として高齢者のゴミ出しについて協議したことをきっかけに、この地域に住む人に「ゴミ出しに困る高齢者がいる」と認識してもらうことを目的とし、高齢者のゴミ出し体験会を実施した。体験会には80名近くの方に参加してもらった。

⑤　他地区で実施している「移動支援（付き添い支援）」の取り組みについて
　市内の他地区社協で実施している移動支援の取り組みについてを情報提供した。

4.　グループワーク
　【住吉・和合地区】地域の課題について
　【富塚地区】「高齢者の外出」のために地域でできること
　2地区に分かれてグループワークを実施。大きなマップを用いて地域課題の確認を行った。

5.　連絡事項
次回開催日：令和6年12月2日（月）9：30～11：00
開催場所：和合せいれいの里研修センター

6.　閉会

５　今後の見通し・必要な対応

　協議体での協議が、協働センターでの体験会や移動スーパー導入などにつながってはいるものの、地域の高齢者への困りごとに対しての支援の仕組み構築まではなかなか届かないのが現状。今後、高齢者の外出や買い物等に対しての支援の仕組みづくり協議体で話し合い、困りごとへの解決につなぐことができるよう取り組んでいきたい。